

# Library News

## 冬季職員研修を開催

附属図書館では、夏季と冬季の2回、利用者サービス向上と職員のスキルアップを目的に職員研修を実施しています。

平成23年度の冬季の職員研修を2月16日（木）新しく整備を行った附属図書館3階のラーニングスペースで開催しました。今回の研修では、附属図書館長の長谷川成一教授に講師をお引き受けいただき、図書館職員から希望が高かった赤穂事件について「赤穂事件の虚像と実像—赤穂浪士はなぜ吉良邸に討ち入りをしなかったのか?—」と題しご講演をしていただきました。

先生は日本近世史、特に江戸時代の津軽領に関する政治・経済・社会・文化についての研究がご専門で、近世景観の分析から江戸時代の日本の文化の特質についても研究され、赤穂事件は毎年年末には必ず話題となるが、教科書に記載されていないこともあり内容を詳しく知らない職員も多く、プロジェクターを使いながら現地で撮影した画像



講演する長谷川附属図書館長

や古文書を使用し克明に解説されました。

元禄15年の赤穂事件と「忠臣蔵」の違いや、吉良邸討入りの趣意が弘前藩庁日記御国日記に克明に記載されている経緯など興味深いエピソードにも触れ、参加した職員も熱心に耳を傾けていました。

(学術情報課長 工藤弘文)

## 附属図書館本館貴重資料保管庫の燻蒸作業

「津軽元禄国絵図写」「官立弘前高等学校資料群」「弘前大学蔵ねぶた絵」などの貴重資料が保存されている附属図書館本館の貴重資料保管庫の燻蒸消毒作業が、平成24年3月14日～15日の二日間にわたって行われました。



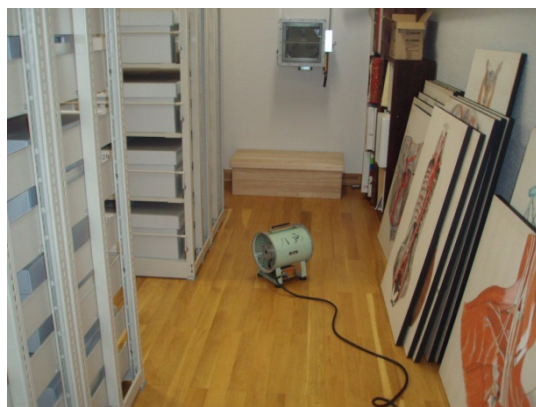
① 使用する機材です



② 薬剤を散布して・・・



④ 部屋を密閉し、一昼夜蒸らします



③ 薬剤濃度が下がったら換気します

貴重資料保管庫設置以来、多くの資料が貴重資料に指定され収められてきましたが、中には「妙源氏古文書」など、虫害が心配される古文書類もあります。今回の燻蒸作業により、これらの資料がより長く後世に伝えられることを期待したいと思います。

(情報サービスグループ 藤井真嗣)

## 図書館のグループ紹介

### 資料管理グループ

図書館のグループ紹介第3回目は、資料管理グループについて紹介させていただきます。

資料管理グループは、文京町キャンパスにある附属図書館本館一階の事務室で、図書情報担当6名、雑誌情報担当4名で業務を行っております。それでは図書情報担当と雑誌情報担当それぞれの主な業務についてご紹介します。

図書情報担当では、図書の購入や寄贈された図書を受入しております。購入される図書には、各



資料管理グループのメンバー（10名）

学部等からの推薦や図書館利用者の方からの希望図書などがあります。受入した図書は、資産登録するため図書IDを付与することで管理し、さらにはどのような図書を所蔵しているか探すための目録データを作成します。この目録データは、図書館内にあるパソコンや図書館ホームページ内のOPAC（図書館蔵書検索システム）を利用し検索ができるようになります。また、図書館を運営していくなかで避けられない破損や重複した図書は、除籍の処理後、希望された利用者の方や、大学祭で譲渡することで再び活用していただく取り組みをしています。ほかにも、学術雑誌掲載論文等電子的形態の教育・研究成果を収集しデータベースを作成する機関リポジトリや利用者サービスとして図書館で利用されているシステムの管理・運用を行っております。

雑誌情報担当では、雑誌の購入や寄贈された雑誌を受入、合冊製本の受付をしております。特に電子ジャーナル・データベースについては、講習会を開催し利用者の方を支援する取り組みを実施しています。エルゼビア社の電子ジャーナルや新聞記事検索データベースなどが附属図書館のホー